

筑西市の小中一貫教育・適正配置について

小中一貫教育について

筑西市立小中学校において、小学校から中学校への円滑な接続を図り、小・中学校が目指す子ども像を共有し、「義務教育の9年間でこんな子どもに育てたい」という共通認識のもとで、系統性・連続性の高い教育を行います。また、中学校区の特徴を生かした9年間連続した学びのある教育活動を行います。

これにより、中学1年生になったときに新しい環境での学習や生活に不応をおこすいわゆる「中一ギャップ」の緩和など、さまざまなメリットが期待できます。

適正配置について

児童生徒の教育環境をより良くするため、学校の適正規模を定め、適正配置について検討します。

学校の小規模化には「児童生徒の一人ひとりに目が届きやすい」、「児童生徒相互の人間関係が深まりやすい」等といったメリットがある一方で、「人間関係が固定化してしまう」、「切磋琢磨されにくい」等のデメリットがあるといわれています。

基本方針の策定

平成27年7月に、市長・教育長・教育委員による総合教育会議を開催し、基本方針を策定しました。

筑西市の小中一貫教育推進の基本方針（抜粋）

- 小中一貫教育については、積極的に推進し、全ての中学校区で義務教育学校（施設一体型）の設置を目指すものとする。当面の施設形態は、施設分離型とする。
- 小中一貫教育については、学校関係者、保護者や地域住民と調整・協議等をしながら推進していくものとする。
- モデル校（地区）を選定し、小中一貫教育の成果や課題を検証するものとする。

筑西市の学校の適正規模・適正配置の基本方針（抜粋）

小学校 クラス替えが可能である各学年2学級以上となる12学級以上

中学校 クラス替えが可能で全ての教科の担任が配置できる9学級以上

- 学校の適正配置については、学校施設の老朽化や小中一貫教育導入にあわせて検討していくものとする。

○学校の適正配置については、児童生徒にとって望ましい教育環境の整備を第一に考え、学校関係者、保護者や地域住民と合意形成を図りながら推進していくものとする。

○複式学級など、教育上著しく望ましくない環境となる場合には、早急に必要な対応を行うものとする。

学校の在り方検討委員会について

小中学校における教育効果を高めることを目指し、小中学校の適正規模・適正配置及び小中一貫教育の実施について検討するため、筑西市学校の在り方検討委員会を設置し、これまでに13回開催されました。

	開催日	内容
第1回	平成27年10月28日	筑西市学校の在り方検討委員会説明 筑西市小中一貫教育及び学校の適正規模・適正配置の基本方針について 諮問書の手交
第2回	平成27年11月24日	筑西市学校の在り方検討委員会スケジュール等について 現在の小中学校と小中一貫教育モデル校のイメージ図について 各中学校区の児童・生徒数について 各中学校区における小・中連携教育の実施状況について
第3回	平成27年12月21日	現在の中学校区と小中一貫教育導入までのイメージ図について 小中一貫教育モデル校各中学校区イメージ図並びに各中学校区の比較について
第4回	平成28年2月8日	中学校区毎モデル校取組み(案)並びに行政への要望事項 モデル校への推進並びに取組み要望事項 平成27年度学校教育懇談会アンケート結果について 小中一貫教育モデル校の基本的な考え方
第5回	平成28年2月29日	小中一貫教育モデル校選定 小中一貫教育モデル校答申
第6回	平成28年4月27日	小中一貫教育モデル校決定について 今後のスケジュールについて 児童生徒数の現状と今後の見込みについて
第7回	平成28年5月31日	学校の在り方についてのアンケートについて 学校施設の現状について(学校施設の経過年数・学校施設の管理・運営経費について) 小中一貫教育モデル校への支援体制について
第8回	平成28年7月14日	学校の在り方に関するアンケート調査について 施設の跡地利用について 統廃合によるスクールバス活用事例等について 小中学校通学区の状況について

第9回	平成28年10月11日	学校の在り方に関するアンケート調査結果について（報告） 本市の学校の適正配置の在り方について答申スケジュール（案） 学校の適正配置についての意見について（お願い）
第10回	平成28年11月17日	「学校の適正配置（学区の見直し及び統廃合）について」【委員の意見】 「学校の適正配置（学区の見直し及び統廃合）について」【委員の意見概要】 「筑西市学校の在り方について」答申（案）について
第11回	平成29年1月25日	「筑西市学校の在り方について」答申（案）について
—	平成29年2月13日	「筑西市学校の在り方について」答申
第12回	平成29年10月31日	本市の学校の適正配置の在り方に係る方針について
第13回	平成29年12月13日	下館中学校と下館北中学校の統合再編、明野中学校区における義務教育学校の設置に関する課題等について 今後のスケジュールについて

【平成28年2月29日、学校の在り方検討委員会答申】

本市の小中一貫教育の在り方について

(1) 今後の取組

- ① 教育委員会は、筑西市内全中学校区で小中一貫教育に取り組めるよう、今後更なる検証を踏まえ、課題や諸問題の解決を図ること。
- ② 教育委員会は、小中一貫教育を行ううえで、より効果的な形態である義務教育学校（施設一体型）の設置を目指すために、今後も更なる検討をしていくこと。
- ③ 教育委員会は、小中一貫教育モデル校に対し、十分な支援を図ること。

(2) モデル校の選定

- ① 平成28年度に導入する小中一貫教育モデル校は、明野中学校区とする。ただし、今後の小中一貫教育モデル校については、学校側と保護者側で意思統一され条件が整い次第導入していくよう、随時選定することとする。

【平成29年2月13日、学校の在り方検討委員会答申】

本市の学校の適正配置の在り方について

(1) 今後10年間で特に取り組むべきこと

- ① 下館北中学校区においては、今後の児童・生徒数の激減が見込まれることから、望ましい教育環境が見込める義務教育学校（施設一体型）の設置、あるいは、下館北中学校と下館中学校との統合の検討を開始すること。

- ② 明野中学校区においては、小中一貫教育モデル校としての実践を生かし、さらに、望ましい教育環境が見込める義務教育学校（施設一体型）の設置について検討を開始すること。

平成29年度取り組み状況

○下館北中学校に係る適正配置の検討について

11月、12月に学区内の小中学校において、下館北中学校の生徒数・クラス数の減少や部活動の状況などを説明し、下館中学校との統合について問題提起させていただきました。

今後の説明会については未定となっておりますが、保護者の皆様や地域の皆様と情報・課題の共有、さらには、人口減少対策による児童生徒数の見込みなどを踏まえ、統廃合の是非を含めて意見交換を行い、合意形成を図ってまいりたいと考えております。

○明野中学校区の施設一体型の義務教育学校の設置の検討について

学区内の小学校・幼稚園・保育園の保護者を対象に、2月20日から22日までの3日間、説明会を開催いたしました。説明会では、児童数が減少している状況と、平成31年度には鳥羽小学校で複式学級が編成される可能性があること、義務教育学校のメリット・デメリットなどを説明するとともに、アンケートを実施いたしました。アンケートでは、『義務教育学校の開設』を希望する保護者が最も多くなっており、『いくつかの小学校同士を統廃合』と合わせると80.5%となり、多くの保護者が現在の教育環境を改善したいと考えていることが確認されました。

今後は、さらに説明会を開催し、保護者の皆様や地域の皆様と意見交換を行い、合意形成を図ってまいりたいと考えております。